

① 製造場名称 千代鶴酒造合資会社		② 都道府県名 高山県	
③ 代表者名 代表社員黒田義弘		④ 資本金または元入金 18万円	
⑤ 所在地 高山縣清川市下梅澤360		電話 0764-75-0031	
⑥ 最寄駅等交通機関 高山地方 西加賀		鉄道 徒歩 分 地下車 徒歩 分 自転車 分	
⑦ 創業開始年号(それ以前から営業をしていたのであれば現在まで継続して営業している場合、昭和何年(明治何年)から創業した年号とある) 明治7		⑧ 経過年号 4	
⑨ 製造数量(アルコール換算20%) (直近製造年度分)	140	⑩-1 純移出数量 (直近製造年度分)	2011
		⑩-2 級別	⑩-3 販売元
		1 特級	1 卸売業者
		② 1級	② 小売業者
		③ 2級	3 その他
⑪ 四季醸造蔵の有無(該当欄に○印)		有 ③	
⑫ 主な販売地域(該当番号に○印)		① 自都道府県内 2 隣接都道府県 3 全国 大都市 1 札幌 2 東京 3 川崎 4 横浜 5 名古屋 6 京都 7 大阪 8 神戸 9 北九州 10 福岡	
⑬ 銘柄の由来 西加賀工場のある地域は古昔、桜井と云われ、その地に水が汲み給している川を桜井川と称して、初代、耕三はその水を使って酒を造ったので当初は桜井酒と名付けた。 二代、義平もその名称を受け継ぎ桜井酒として愛好された。 三代、義弘は、明治38年日露戦争に従軍、203高地の激戦に参加、負傷し、陸軍病院にて治療し、その後能登の陸軍療養所に養生、九死に一生を得て帰還した。 当時裏の田に咲く丹頂鶴が舞い降り遊ぶのを見て自分の生涯を振り返るのと解し、酒の銘柄を自出度、千代鶴と改称した。 四代の今日もその自出度、銘柄を継承している。			
⑭ 酒類製造以外の果実食品製造とその品名および銘柄名			
⑮ 首都圏において貴社の銘柄を常時飲用できる飲食店名(店名一覧表があるときは、右のボックスに入れて下さい) <店名> <所在地> <電話>			
⑯ 首都圏において貴社の銘柄を購入できるデパート、小売店など、それぞれの該当に○印を付し特定店、小売店名を記す デパート：全般的 特定店のみ(店名) <電話> 小売店：全般的 特定小売店のみ(店名) <電話>			
⑰ 貴社の首都圏における連絡先(支店、出張所等) <名称> <所在地> <電話>			